

技能章・研究ノート

野 営 章

※技能章・研究ノート活用については、「技能章・研究ノートについて」を参照

参考書籍等：技能章ガイドブック 野営章

指導者のためのスカウト・キャンプ

スカウトハンドブック・ベーシック初版（略 ベーシック）

スカウトハンドブック・ベーシック初版について（修正案・補足等）（略：修正案等）

山登りABC 山用具の基本 山と溪谷社

山登りABC テント泊登山の基本 山と溪谷社

※スカウトの野営においては、テント内は火気厳禁です。また、換気を怠らないこと。

テント前室での使用でも、一酸化炭素中毒などが発生しています。

日本ボーイスカウト愛媛県連盟

松山地区 第 団

氏名 _____

※【考査方法】については、日本連盟のホームページ（進級課程の改定）で確認したのですが、細目との関係で、一部適当であるかどうか疑義のある箇所があります。各隊で、スカウト進級手帳などで随時確認をしてください。変更となることも予想されます。

(1)入団以来通算 10 泊以上のキャンプ(3 泊以上のキャンプに 2 回参加したことを含むこと、また、自分が計画した班キャンプを含むことができる)に参加していること。

【考査方法：報告書の提出】

期間	泊数	場所	参加人数	活動内容
年 月 日 ～ 年 月 日				
年 月 日 ～ 年 月 日				
年 月 日 ～ 年 月 日				
年 月 日 ～ 年 月 日				
年 月 日 ～ 年 月 日				
年 月 日 ～ 年 月 日				

上記の通り参加したことを証明する 隊長サイン

(2) キャンプ地を選ぶときの基本的条件と自然環境を保護するための注意点を説明し、班キャンプにおけるサイト設計図を作成し、そのキャンプ地に合った班サイトを構築する。

【考査方法：口述または記述】

・ キャンプ地を選ぶ基本的条件

ベーシック P. 214～215、スカウトライブラリ-野営章 P. 8 以下『野』と略す、指導者のためのスカウト・キャンプ P. 12～14

・ 自然環境を保護するための注意点

ベーシック P. 44～48、野 P. 8～10

・ 理想的な班サイトの設計図(配置図)

ベーシック P. 216、野 P. 14～15

構築日：

場所：

証明者サイン：

(3)家型テントとドーム型テントを含む、代表的なテントを 3 種類以上張り、特徴、用途を説明できること。

【考査方法：実演の後、口述】

ベーシック P. 199～209、野 P. 11～12、指導者のためのスカウト・キャンプ P. 20～37

テント種類	特徴	用途	張った日・証明サイン
家型テント			年 月 日
ドーム型 テント			年 月 日
			年 月 日

- (4) フライ付き家型テントを正しく張り、昼と夜、晴天と雨天、強風時に応じた綱の張り方ならびに支柱、ソドクロス、換気窓、扉の取り扱い、乾燥作業ができること。また、ドーム型テントの強風時および雨天時の対策、乾燥作業ができること。

【考查方法：実演】

ページ P. 199～206、210～213、野 P. 13、15～36

フライ付き家型テント			
部位	昼と夜	晴天と雨天	強風時
綱の張り方			
支柱の取り扱い			
ソドクロスの取り扱い			
換気窓の取り扱い			
扉の取り扱い			
乾燥作業			
実施場所 年月日	年 月 日	証明者サイン	

野 P. 36～38

ドーム型テント			
部位	昼と夜	晴天と雨天	強風時
綱の張り方			
強風時の対策			
雨天時の対策			
乾燥作業			
実施場所 年月日	年 月 日	証明者サイン	

(5) 木、竹などの材料を用い、正しい結びを用いてキャンプ生活に必要な用具や設備、立ちかまどを含む3種以上を製作すること。

【考查方法：実演または報告書の提出】

修正案等 P. 8～9・22～23. 30、ペーシック P. 217、230、242、野 P. 38～42

		図・写真
名称	立ちかまど	
製作年月日	年 月 日	
製作場所		
使用結索		
証明者サイン		
名称		
製作年月日	年 月 日	
製作場所		
使用結索		
証明者サイン		
名称		
製作年月日	年 月 日	
製作場所		
使用結索		
証明者サイン		

(6) キャンプの衛生について、次の各項にわけて説明ができること。

【考查方法：口述または記述】

ア 湿気の防止と乾燥作業の必要性とその方法

野 P. 28～31、34～36、43～47、ベーシック P. 212

イ 寝るテント内に食品を貯えることの有害な理由

野 P. 55、56、ベーシック P. 213

ウ キャンプサイトにハエを発生させないための対策

野 P. 56～59、ベーシック P. 213、273

ア 湿気の防止と乾燥作業の必要性とその方法

イ 寝るテント内に食品を貯えることの有害な理由

ウ キャンプサイトにハエを発生させないための対策

※スカウトの野営においては、テント内は火気厳禁です。また、換気を怠らないこと。

テント前室での使用でも、一酸化炭素中毒などが発生しています。

(7)夜の野営地における正しい明かりの取り方を理解していること。また、ホワイトガソリン・灯油・ガス・乾電池を使用するキャンピング灯火を3種類以上使用した経験があり、取扱上の注意事項・特徴・手入れの方法が説明できること。炊事用コンロの正しい取り扱いが説明できること。

【考査方法：実演の後、口述または記述】

ベーシック P.211、244

夜の野営地における正しい明かりの取り方

キャンピング灯火

野 P.59～60

種類	使用日 証明者サイン 年 月 日	注意事項	特徴	手入れ方法
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			

炊事用コンロの正しい取り扱い

野 P.61～62

(旧野営章) ローソクを使用するキャンピング灯火を使用した経験

(旧野営章) キャンプの衛生について、次の各項にわけて説明ができること。

ベーシック P. 81、82～85、105、210～213

イ 便秘と水の飲みすぎの害とその防ぎ方

野 P. 47～50、救 P. 66、184～185

ウ 日射病の予防法と害虫の駆除法

野 P. 50～55、野管 P. 31～38、救 P. 57～68、133～152

エ 昼間着た下着を着けたまま床に入らぬ理由

野 P. 55